筑波大学水理実験センター報告　No. 3・95～111（1979）

雑　　報

1978年度水理実験センター年次研究報告会記事

1978年度水理実験センター年次研究報告会は1978年12月20日，水理実験センターに於いて開催され，17の口頭発表が行なわれた（プログラム参照）。年次研究報告会が開かれたのは本年が初めてのことであるが，今後ますます充実，発展させていきたいと考えている。口頭発表者は，センター員，センター利用者，およびセンター員と共同研究を行なった研究者に限られているが，センターの利用者や共同研究者が増加するとともに，一層多くの人々の参加が期待される。

口頭発表の行なわれた論文のうち，10編は，この水理実験センター報告第3号に収録されている。論文の公表されなかった7編については，以下に収める講演要旨をもってその代わりとする。

プログラム

（1978年12月20日，於，水理実験センター）

9：15　開会の辞　　センター長：井口正男

1）9：30～9：50　散乱型中性子水分計の使用に関する問題　開発一郎°・佐倉保夫

2）9：55～10：15　不飽和土の透水性に関する実験　岡橋生幸

3）10：20～10：40　降雨浸透下の土壌水分移動と地中温度　佐倉保夫

4）10：45～11：05　リモートセンシングによる土壌水分の測定　小泉　健

5）11：10～11：30　植生のある地表面からの蒸発放量の推定について　中川慎治

6）11：35～11：55　牧草上における粗度長と地面修正量について　林　陽生

昼　　食

7）13：00～13：20　植物群落上の風速分布とそのパラメーターの関係について　古藤田一雄

8）13：25～13：45　熱収支法による蒸発散量とライシメーターの観測値の比較　古藤田一雄

9）13：50～14：10　斜め平板の後流　泉　耕二

10）14：15～14：35　霜柱による土壌侵食について　小野有五

11）14：40～15：00　二次元海浜地形の変形過程　川又良一

休　　憩

12. 15：20～15：40　河床砂と浮遊砂の粒度組成について　池田一雄

13）15：45～16：05　沖積砂床河川の Unit Stream Power について　井口正男°・一守祐司

14）16：10～16：30　滑面水路における固体粒子の転動速度　池田　宏°・小野有五・泉　耕二・川又良一

15）16：35～16：55　海浜変形におよぼす混合砂の効果　川又良一

16）17：00～17：20　掃流砂量公式について　池田　宏°・井口正男

17）17：25～17：45　風成デューンの風下斜面上における飛砂　松倉公憲°・泉　耕二・佐々木　巽・武田一郎

17：50　閉会の辞　井口正男

18：00～20：00　懇親会

（°印は口頭発表者）